

令和7年度八戸PTLS (Primary -care Trauma Life Support) 講習会

【医師コース】

【主催】八戸市立市民病院 【協力】PTLS ネットワーク

【コース責任者】八戸市立市民病院 管理者 今 明秀

【目的】国際標準の外傷初期診療法を身につける

【日時】令和7年8月23日(土)

〔予定スケジュール〕

7:30 ~ 8:00	受付
8:00 ~ 12:00	座学とデモンストレーション
12:00 ~ 13:00	昼食
13:00 ~ 17:50	実技(少人数(6人程度)グループ別の実習及びフィードバック(シミュレーション結果を説明))
17:50 ~ 18:00	修了式

【場所】八戸市立市民病院講堂

(新幹線八戸駅よりタクシー20分。三沢空港よりバス75分。本八戸駅よりバス15分)

【定員】医師コース30名

【受講料】20,000円

【必須テキスト】「Primary-care Trauma Life Support 元気になる外傷ケア」

(出版:シービーアール 監修:地域医療振興協会 編集:箕輪良行・今明秀・林寛之)

必須テキストは、各自で事前購入してください。

【参考テキスト】教材DVD「まちがいのない救急基本手技第3版 医師編」

参考テキストの購入は任意です。

【その他】各自所属のネームプレート、聴診器を用意してください。

【申込方法】下記申込みフォームからお申込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S4964183/>



受付開始 令和7年4月1日(火) 00:00

受付期限 令和7年5月30日(金) 12:00

※定員を超える申込みがあった場合、受付期限前でも申込みを締め切らせていただく場合がありますので、予めご了承ください。受講の可否については申込み時に登録されたメールアドレスにご連絡いたします。

【問い合わせ先】八戸市立市民病院救命救急センター 電話:0178-72-5111

「君は初期診療をできるか。心タンポナーデと腹腔内出血」

ホットラインが鳴った。「60歳男性。交通外傷。普通自動車運転し大型車と衝突。ショック状態。大腿開放骨折有り。収容御願います。酸素投与と全脊柱固定でいきます。あと6分です。」さあ来るぞドキドキする。バックボードに載せられて入室してきた患者の顔は真っ青で、苦痛で顔がゆがんでいる。脈拍は弱い、早い、冷や汗有りのショックだ。酸素は10リットルそのまま、服を切ってモニターつけて。気道はよし、呼吸は速いが、気胸の所見なし。開放大腿骨折部の出血を救急隊員に圧迫止血してもらい、血圧を計りながら輸液ラインを獲る。暖めたリンゲルを両上肢から16Gで全開で。胸部レントゲンと骨盤レントゲンをバックボードの下にフィルムを入れて撮るぞ。同時に超音波だ。最初に心嚢液を、次に腹腔内出血を、観察は4カ所を1分で。「アー！心嚢液がかなりある。腹腔内出血もあり。」輸液は全開でも、橈骨脈拍は触れなくなった。すでに血圧計は誰も宛にしていない。「心タンポナーデのショック！」心嚢穿刺を行う。「16G用意、少しファーラー位にしる。手術室の準備だ。優先順位は心臓、次に開腹術、それから大腿骨。輸血はO型4単位をもってこい。全部で8単位用意。」

劇的救命を目指せ！